

事業活動温暖化対策計画書 兼 実施状況等報告書

1 事業者等の概要

氏名又は名称	森永乳業株式会社					
代表者名	氏名	宮原 道夫	役職名	社長		
主たる事務所の所在地	東京都港区芝5-33-1					
主たる事業の分類	大分類	E 製造業				
	中分類	09 食料品製造業				
主たる事業の概要	乳製品の製造					
制度に該当する要件	<input checked="" type="checkbox"/>	条例第12条第1項第1号及び条例施行規則第4条第2項第1号に該当する事業者				
	<input type="checkbox"/>	条例第12条第1項第1号及び条例施行規則第4条第2項第2号に該当する事業者				
	<input type="checkbox"/>	条例第12条第1項第2号に該当する事業者				
	<input type="checkbox"/>	上記以外（任意提出）の事業者				
		基準年度実績	最終年度の目標	第一年度報告	第二年度報告	第三年度報告
原油換算エネルギー使用量	k1	1933	1875	1813	1791	1688
エネルギー起源二酸化炭素排出量	t-CO ₂	3837	3721	3604	3555	3354
その他ガス排出量合計	t-CO ₂	0		0	0	0
自動車の台数	台	1		1	1	1
自動車からの排気ガス合計	t-CO ₂	0				

2 基準年度、計画期間及び報告対象年度

基準年度	平成 28 年度
------	----------

計画期間	平成 29 年度～ 平成 31 年度
------	--------------------

報告対象年度	平成 31 年度
--------	----------

3 計画書（報告書）の公表方法等

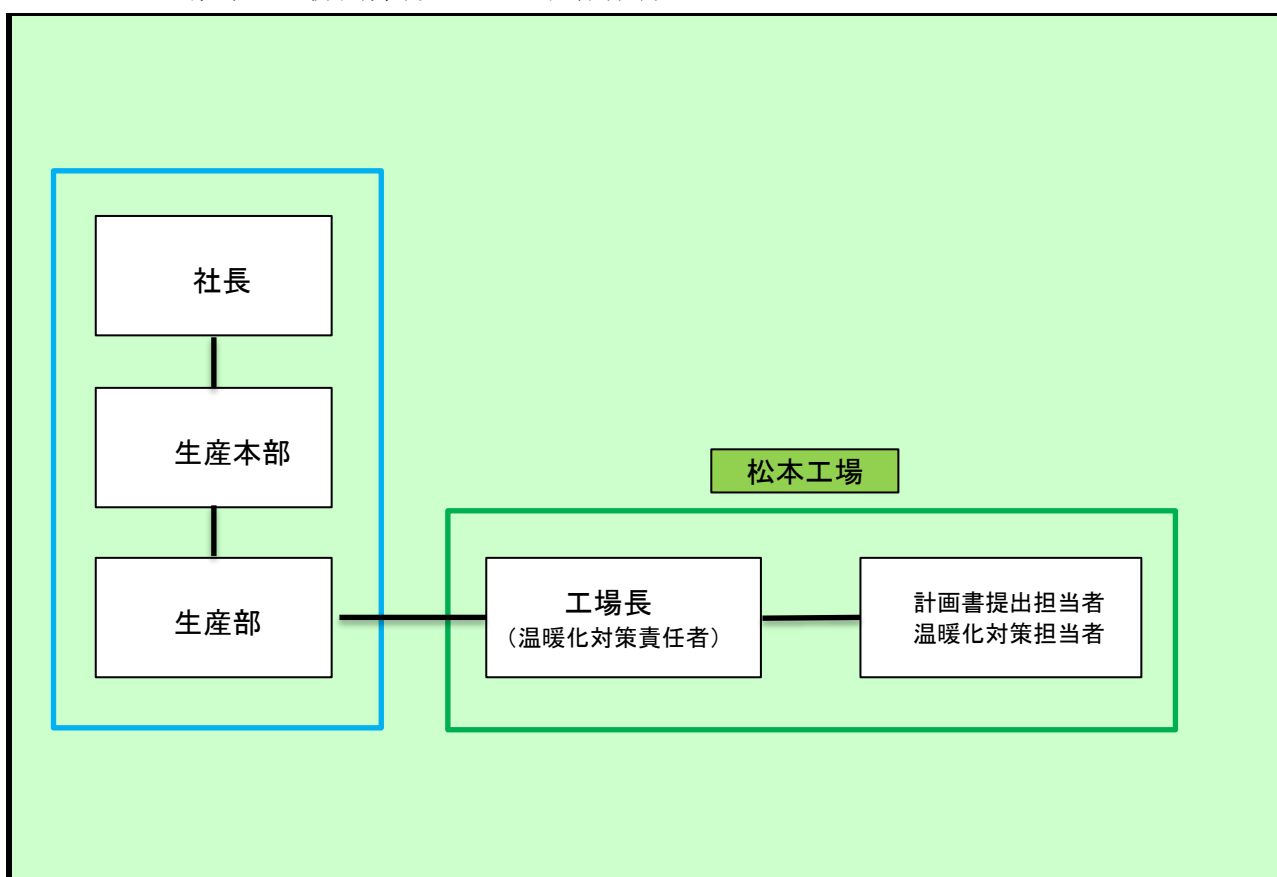
<input type="checkbox"/>	ホームページ	工場受付にて閲覧可能 8:30~16:45 担当部署 松本工場 製造課 工務職場 連絡先 0263-26-0330
<input checked="" type="checkbox"/>	印刷物の閲覧	
<input type="checkbox"/>	その他	

様式1号
(総括票)

4 温室効果ガス排出抑制のための基本方針

エネルギーの使用の合理化を適切かつ有効に実施し温室効果ガスの削減に努めます。

5の1 温室効果ガス排出抑制のための組織体制



5の2 温室効果ガス排出抑制のための会議体等の名称及び開催頻度

MMS (MorinagaManagementSystem) の「コストエンジ推進」にて省エネ・CO2削減の取組
会議名「MMS面談」 目標・計画決定、進捗確認
頻度 1回/2ヶ月

様式1号
(総括票)

6の1 エネルギー起源二酸化炭素の排出抑制に係る目標及び実績

基準年度	基準排出量	3,837	t-CO ₂	生産数量	717.00	単位	t	
28年度	調整後排出量	3,826	t-CO ₂	基準原単位	5.35	t-CO ₂ /	t	
目標年度	目標排出量	3,721	t-CO ₂	目標原単位	5.18	t-CO ₂ /	t	寄与度の合計から求めた目標削減率※
31年度	目標削減率	3.02	%	目標削減率	3.17	%		
目標設定に関する説明	ISO14001の環境目標がCO ₂ 排出量 年1%削減であるため、3年で3%削減を目標といたしました。							※事業の内容により単一の原単位を設定できない者のみ記載する(以下同じ)。
第一年度	排出量	3,604	t-CO ₂	生産数量	649.00	単位	t	
	調整後排出量	3,591	t-CO ₂	原単位	5.55	t-CO ₂ /	t	寄与度の合計から求めた実績削減率※
29年度	削減率	6.07	%	削減率	(3.74)	%		
排出量等の増減理由	製造量が減少したためCO ₂ 排出量も減少しましたが、原単位は増加しました。事務、空調、冷蔵庫設備など製造量と比例しないエネルギー消費設備の比率が大きくなり原単位が増加しました。							
第二年度	排出量	3,555	t-CO ₂	生産数量	643.80	単位	t	
	調整後排出量	3,544	t-CO ₂	原単位	5.52	t-CO ₂ /	t	寄与度の合計から求めた実績削減率※
30年度	削減率	7.34	%	削減率	(3.18)	%		
排出量等の増減理由	CO ₂ 排出量は減少し、目標値を上回ることが出来ました。しかし、工程が多い製品が増加し製造量が減少したため目標原単位には届きませんでした。							
第三年度	排出量	3,354	t-CO ₂	生産数量	587.20	単位	t	
	調整後排出量	3,341	t-CO ₂	原単位	5.71	t-CO ₂ /	t	寄与度の合計から求めた実績削減率※
31年度	削減率	12.58	%	削減率	(6.73)	%		
目標の達成状況及び排出量の増減理由	CO ₂ 排出量は減少し、目標値を上回ることが出来ました。しかし、製造量の減少により事務、空調、冷蔵庫設備など製造量と比例しないエネルギー消費設備の比率が大きくなり原単位が増加しました。							

様式1号
(総括票)

6の2エネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガスの排出抑制に係る目標及び実績

基準年度	基準排出量	0	t-CO ₂			単位		
年度	調整後排出量		t-CO ₂	基準原単位		t-CO ₂ /		
目標年度	目標排出量	0	t-CO ₂	目標原単位		t-CO ₂ /		寄与度の合計から求めた目標削減率 [※]
年度	目標削減率		%	目標削減率		%		
目標設定に関する説明								※事業の内容により単一の原単位を設定できない者のみ記載する(以下同じ)。
第一年度	排出量	0	t-CO ₂			単位		
年度	調整後排出量		t-CO ₂	原単位		t-CO ₂ /		寄与度の合計から求めた実績削減率 [※]
年度	削減率		%	削減率		%		
排出量等の増減理由								
第二年度	排出量	0	t-CO ₂			単位		
年度	調整後排出量		t-CO ₂	原単位		t-CO ₂ /		寄与度の合計から求めた実績削減率 [※]
年度	削減率		%	削減率		%		
排出量等の増減理由								
第三年度	排出量	0	t-CO ₂			単位		
年度	調整後排出量		t-CO ₂	原単位		t-CO ₂ /		寄与度の合計から求めた実績削減率 [※]
年度	削減率		%	削減率		%		
目標の達成状況及び排出量の増減理由								

様式1号
(総括票)

6の3 自動車の使用に伴う二酸化炭素の排出抑制に係る目標及び実績

基準年度	基準排出量	0	t-CO ₂			
年度						
目標年度	目標排出量	0	t-CO ₂	削減率		%
年度						
目標設定に関する説明						
第一年度	排出量	0	t-CO ₂	削減率		%
年度						
排出量等の増減理由						
第二年度	排出量	0	t-CO ₂	削減率		%
年度						
排出量等の増減理由						
第三年度	排出量	0	t-CO ₂	削減率		%
年度						
目標の達成状況及び排出量の増減理由						

7 重点対策の実施状況

段階	連番	対策名称	基準年度	実施予定	第一年度	第二年度	第三年度	備考
I、II	1	燃料使用量等の定期的な把握						
	2	エコドライブの励行						
III、IV	—	次世代自動車の導入						

様式1号
(総括票)

8 排出抑制目標達成のための具体的な措置

番号	区分	対策内容	計画		状況	
			実施 予定年 度	削減見込量 (t-CO ₂)	実施年度	推計削減量 (t-CO ₂)
1	エネ起	120201 チルド冷凍機の更新	29	1	29	1
2	エネ起	120201 製品冷蔵庫冷凍機の更新	29	1	29	1
3	エネ起	その他 排水処理設備 水中攪拌機導入による処理効率化	29	8	30	14
4	エネ起	320205 台数制御に係る運転条件の適正管理	29	2	30	20
5	エネ起	320301 トラップ等漏れ原因箇所の減少(トラップの選定)	30	2	30	17
6	エネ起	320351 蒸気配管保温の見直し	30	3	31	2
7	エネ起	380752 照明のLED化	31	1	31	1
8	エネ起	360702 ファンのINV制御による風量低減	31	12		
9						
10						

9 自然エネルギー源利用設備等の導入状況

機器の種類	単位	基準年度	導入計画	第一年度	第二年度	第三年度
太陽光発電照明導入	kW	0	1	0	0	0

10 クレジット等に関する取組状況

クレジットの種類	単位	基準年度	計画期間	第一年度	第二年度	第三年度
グリーンエネルギー証書 (電気)	tCO ₂					
グリーンエネルギー証書 (熱)	tCO ₂					
J-クレジット制度により 創出されたクレジット	tCO ₂					
県が認証したクレジット	tCO ₂					
電気の利用に伴うもの	tCO ₂	11		13	11	13
低炭素電力の利用	tCO ₂					

様式1号
(総括票)

1.1 県内の工場等におけるエネルギー起源二酸化炭素の排出実績 (所、t-CO₂)

工場等の規模 (原油換算エネルギー使用量)	基準年度		第一年度		第二年度		第三年度	
	工場等数	排出量	工場等数	排出量	工場等数	排出量	工場等数	排出量
3,000k1以上								
1,500k1以上 3,000k1未満	1	3,837	1	3,604	1	3,555	1	3,354
1,500k1未満								
合計	1	3,837	1	3,604	1	3,555	1	3,354

1.2 県内の工場等におけるエネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガスの排出実績 (t-CO₂)

ガスの種類	基準年度	第一年度	第二年度	第三年度
非エネルギー起源 CO ₂				
CH ₄				
N ₂ O				
HFC				
PFC				
SF ₆				
NF ₃				
合計	0	0	0	0

1.3 次世代車使用台数、導入計画及び実績 (台)

自動車種別	基準年度	第一年度	第二年度	第三年度
プラグイン・ハイブリッド自動車	0	0	0	0
電気自動車	0	0	0	0
燃料電池自動車	0	0	0	0
クリーンディーゼル自動車	0	0	0	0
その他 (ハイブリッド等)	0	0	1	1
合計	0	0	1	1
自動車総数	1	1	1	1
次世代車導入割合			100	100

様式1号
(総括票)

1.4 中小企業支援状況

区分	内容
中小企業への省エネ診断	なし
その他	なし

1.5 交通対策状況

区分	実施内容
ノーマイカー通勤	徒歩、自転車通勤にも手当を支給 松本市ノーマイカーデー運動参加 マイカー通勤率 40%
公共交通機関の利用促進	県外出張は近くの駅まで社有自転車又は徒歩で移動し電車を使用している。
来客者の交通対策	社内ポータルサイトにて電車での交通手段を掲載。 県外業者には極力電車での移動を依頼。
物流の合理化	なし

1.6 環境マネジメントシステム導入状況

番号	名称	導入年
1	ISO14001取得	1999年
2		
3		

1.7 その他の地球温暖化を防止する対策の実施状況

基準年度実績	ライトダウンキャンペーン参加 (年2回看板ライトダウン実施) 穴田川清掃ボランティア参加、松本市ごみゼロ運動参加 敷地内の緑地、樹木の整備、牛乳パック・包装資材のリサイクル活動
第一年度実績	ライトダウンキャンペーン参加 (年2回看板ライトダウン実施) 穴田川清掃ボランティア参加、松本市ごみゼロ運動参加 敷地内の緑地、樹木の整備、牛乳パック・包装資材のリサイクル活動
第二年度実績	ライトダウンキャンペーン参加 (年2回看板ライトダウン実施) 穴田川清掃ボランティア参加、松本市ごみゼロ運動参加 敷地内の緑地、樹木の整備、牛乳パック・包装資材のリサイクル活動
第三年度実績	ライトダウンキャンペーン参加 (年2回看板ライトダウン実施) 穴田川清掃ボランティア参加、松本市ごみゼロ運動参加 敷地内の緑地、樹木の整備、牛乳パック・包装資材のリサイクル活動

1.8 自由記載欄

区分	内容	削減量(tCO ₂)
基準年度以前の取組み	平成26年度 場内水銀灯のLED化 平成28年度 高効率ボイラーへの更新	85
その他	H30年9月 社用車をガソリン車からハイブリッド車へ更新した。	